



号外

2004年7月6日発行

第4回 国際極年

国内委員会ニュースレター

IPY4 国内委員会事務局 〒173-8515 東京都板橋区加賀 1-9-10 国立極地研究所内
電話: 03-3962-5690 FAX: 03-3962-5701 e-mail: hajime@pmg.nipr.ac.jp

特別号：研究計画書を書いて、国際極年に参加しよう

【研究計画書作成依頼】

8月半ばを目処に、IPY4 日本国内委員会では、National Program を編纂し、ICSU 計画グループへ提出する作業を進めています。

フォーマットを作成しましたので、これに基づいて、皆様挙って研究計画書を事務局まで送付してください。この段階では、計画書提出により、具体的な義務は生じません。少々大風呂敷を広げて頂いて結構です。

なお、すでに研究計画を提出/発表されている方も、お手数ですが、「作成上のお願い」に沿って、再度提出をお願いします。準備途中の方も、現段階での暫定的な内容でかまいませんので、いったん提出してください。後刻細部の変更は可能です。

今計画書を提出しておけば、自然な形で、極年に参加できます（別項「作業の流れ」を参照してください。）

ICSUへの提出のために英語版が必要です。国内での準備活動のために、あわせて日本語バージョンの作成もお願いします。両者に矛盾が生じない限り、逐語的に同一である必要はありません。

このような英文・和文の突合せを含めて、国内委員会では内容の評価や検討は一切行いません。自由にご執筆ください。

計画書は、添付ファイルで、事務局 (hajime@pmg.nipr.ac.jp) までご送付願います。

締め切りは8月3日(火)24:00とします。(ご都合により、提出が遅れそうな方は、事前にご相談ください。)

【作業の流れ】

8月3日までに、計画書を国内委員会事務局へご送付ください。

国内委員会では、編集作業を行ったのち、8月15日ごろ、日本の計画書をICSU計画グループへ提出します。(ICSU計画グループでは、下記会合で討議の対象となるためには、会合の1ヶ月前に資料を入手したいと表明しています。)

9月15日から、ICSU計画グループの会合が開かれ、IPY4 総合計画書の最終案が決められます。それに先立ち、

9月13・14日に、第2回IPY討論フォーラムが開かれ、ICSU計画グループは、参加国・機関の意見を聴取します。日本からも国内委員会委員長の出席を考えています。

10月に、ICSU計画グループは、ICSU理事会にIPY4 総合計画書(最終案)を提出します。その後、

2005年2月のICSU理事会、5月の総会の審議を経て、IPY4 総合計画書が採択されます。

2007年3月1日に第4回極年が始まります。

【様式：和文】

第4回国際極年
日本国内委員会提唱研究計画

- A 研究課題
- B1 研究代表者氏名
- B2 研究代表者所属
- C1 担当者氏名
- C2 担当者連絡先
- D1 国内共同研究者氏名・所属
- D2 海外共同研究者氏名・所属
- E 関連する国際研究計画の名称と関連の記述
- F 研究計画概要
- G 一般社会、特に若年層へのアピール

【Format: in English】

The Fourth International Polar Year
Japanese Proposal on Research Program

- A Title of Research Program
- B1 Principal Investigator
- B2 Affiliation
- C1 Corresponding Post
- C2 Corresponding details
- D1 Cooperative researcher/institution in Japan
- D2 Cooperative foreign researcher/institution
- E Related International Research Project
- F Description of the Program

【作成上のお願ひ】

事務局では、粗編集をする程度で、貴原稿に手を加えることを考えていません。原稿は、いわゆる「カメラレディ」にまで仕上げてください。（ただし、こちらでページや番号を打つかもできませんので、PDFにはしないでください。）

全体で、A4用紙1 - 2枚に収めてください。この範囲に収まれば、ポンチ絵や図表・写真（カラー歓迎）をどんどん使ってください。必要事項が含まれていれば、分量の制限以外には、形式は自由とします。独創的な計画書を作成してください。

Cには、忘れずに、eメールのアドレスも書いてください。

D,Eについては、該当するものが無ければ空白でかまいません。

また、複数事項があれば、それぞれについて記載してください。

多数に上る場合には、主要な人/機関を書いていただければ、十分です。

Fは、専門の研究者以外にも理解できるように、平易をお願いします。目的、観測地域、観測期間、観測手段といった基本事項はもらさないようにお願いします。

Gは、アウトリーチに活用いたします。次世代が第5回国際極年を支えることを考慮し、できるだけ貴研究計画が魅力的に見えるような文章を書いてください。10行程度では、と考えていますが、分量に特に制限は設けません。また、文書総量に加えませんので、必要なら別紙（3枚目）に書いてくださってもかまいません。